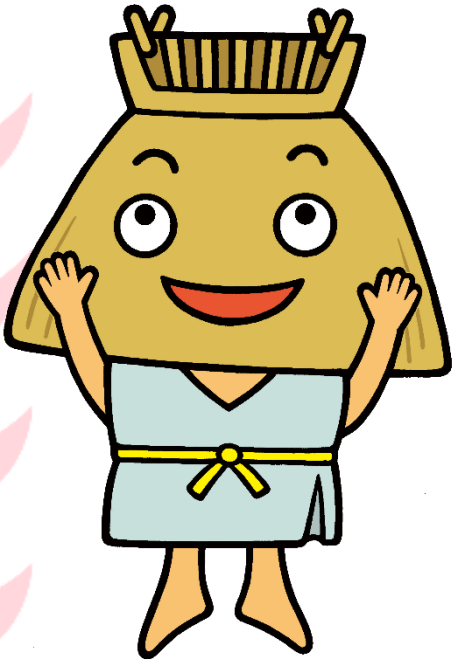
駿河区
SURUGA
SURUGA WARD OFFICE

令和6年度 駿河区区民意見聴取事業

“わがまち×わかまち”会議
提案事業報告書

令和6年度テーマ

「ずっと住み続けたいまち」って、どんなまち？
～みんなで描く住みよい駿河区～



【事業概要】

駿河区では、区内に複数の大学を有し若者が多いという特色を活かし、次世代の担い手である学生をはじめとした若者と自治会役員等の地域住民と区役所が一緒になって、住民主体のまちづくりについて意見交換を行えるよう、区民意見聴取事業“わがまち×わかまち”会議を実施しています。

令和６年度は、「ずっと住み続けたいまち」を題材として全４回のワークショップを行い、令和７年度以降に実施可能な取組などについての意見交換を経て、最終的に５つの提案が生まれました。

既存の魅力づくり事業をブラッシュアップするアイデアのほか、若者と地域のつながりを生み出すための新しいアイデアなど、駿河区が住み続けたいまちになるための手がかりになる提案をいただくことができました。

各班からいただいた提案は、令和７年度以降の魅力づくり事業への反映の検討するとともに、内容が他部局に関係するものについては、関係部局へ情報提供します。

【Ｒ６年度テーマ】

「ずっと住み続けたいまち」って、どんなまち？～みんなで描く住みよい駿河区～

【対象・参加人数】

駿河区在住又は駿河区に通勤・通学している方、駿河区を拠点に活動している団体の方：２０人
区長ほか駿河区役所職員：８人

【ファシリテーター】

小野寺　郷子　氏（会議ファシリテーター普及協会　副代表理事）

【日程・内容】

回	日　程	内　容
第１回	10月24日（木）	チームメンバーを知ろう、駿河区と関係のあるものを書き出そう
第２回	11月７日（木）	ミニレクチャー「SDGｓ」、「こうなったらいいな」を考えよう
第３回	11月21日（木）	ミニレクチャー「行動経済学」、テーマから具体的なアイデアへ
第４回	11月28日（木）	まとめ・発表

1班　提案事業

駿河区の五つ星グルメ

≪提案の背景≫
駿河区には、他区にも負けない魅力的な飲食店がたくさんありますが、まだまだ知られていないお店やグルメも存在します。若者をはじめとした市内外の人たちに駿河区のグルメをPRすることで、区の魅力をさらに向上させることができると考え、企画しました。

≪企画内容≫

～推しグルメでもぐもぐしようぜ～

〇駿河区の魅力的な飲食店等に参加していただき、各店舗のおすすめグルメを味わうことができる**「駿河グルメグランプリ」**を開催
＜グランプリ部門＞
・スイーツ部門
・ドリンク部門
・フード部門
・映え部門
・ワンコイン部門

→ 様々な部門をつくることで、より多くの駿河区グルメに注目を集める！

〇参加者の投票で各部門のグランプリを選出し、駿河区のオンリーワングルメの誕生を目指します！

≪ターゲット層≫
市内外の若者

≪主催者・関係者≫
企業、飲食店、行政、JA、学生、自治会

≪この提案に対する他班の参加者からのコメント≫
・駿河区は食の特産品が多いから盛り上がりそう/・駿河区にはグルメのイメージがないので新しい強みになりそう/・部門を分けてPRするという発想がとても面白い！/・投票というスタイルが面白いと思った/・ワンコイン部門助かる/・グランプリの審査にSNSを使えると拡散されやすくなるかもしれませんね/・グランプリのお店を大々的に表彰したら参加店が増えそう/・新しいグルメの誕生を心から期待します！

2班　提案事業

ネクストスルガフェス

≪提案の背景≫
平成30年度の区民意見聴取事業での提案から生まれたスルガフェスは、毎年度、様々な工夫をしながら、多くの方が集まるイベントへ成長してきました。今後も、幅広い世代の方が楽しく駿河区の魅力を発見できるイベントへとさらに発展させていきたいと考え、企画しました。

≪企画内容≫

～だれもが楽しめるスルガフェスに～

○世代共通の企画に加え、**各世代を対象とした企画を盛り込む**ことで、より幅広い人たちが楽しめるイベントに！

年配の方
- ・健康　（体や頭を動かせるゴルフ、ナンプレなど）
- ・文化　（昔流行したものを披露、体験）
- ・食　　（野菜販売など）
- ・3世代　（子・孫の世代と楽しめるビンゴ、トロベーダンスなど）

若者
- ・ステージ　（学生団体を増やす）
- ・宣伝　（学生出演者のSNS宣伝）
- ・食　（ラーメンフェス）
- ・進路　（就活、進学ブース）

世代共通
- ・食　（限定メニュー！）
- ・空間　（ゆっくりくつろげるような休憩所、写真映えするスポット）
- ・プラモデル

≪ターゲット層≫
年配の方、若者（中高生・大学生）

≪主催者・関係者≫
大学生、行政、自治会、出店者、出演者

≪この提案に対する他班の参加者からのコメント≫
・世代ごとに刺さる企画があっていいと思った/・ターゲットの共通点にも着目している点がよいと思った/・年配の方も楽しめるイベントは嬉しい/・就活、進学ブースがあったら若者は絶対に来る/・10代～20代が少ないので増やしていきたい/・プラモデル産業を巻き込むのはいいアイデアだと思う/・楽しむだけでなく繋がるスルフェスになっていると感じました！

3班　提案事業

駿河区を応援したい(隊)プロジェクト

≪提案の背景≫
既存の駿河区役所の事業において、「大学生」の参加者を増やすことで、区の事業を通して、地域と大学生がつながる機会を段階を踏んで創出します。今ある地域のつながりに大学生が加わることとで「つながりの輪」が広がり、まちが元気になると考え、企画しました。

≪企画内容≫

～つながりの輪をひろげてまちを元気に～

○地域と大学生をつなぐためには「段階」を踏んで大学生が地域に入りやすくなるプロセスが必要。3つのSTEPを通じ、**大学生が区や地域と関わることを「メリット」としてとらえらる機会や場を創出**する。

STEP1：駿河区を「好きになってもらう」

☆ **大学をとおして情報提供**

ex)・区政を含む区内全般のことについての講義を行う(単位がもらえる！)
・出前講座の実施、食堂や大学祭への駿河区ブース出展
・区内企業へのインターンシップ斡旋
・キャリアセンターにPRを掲出

☆ **区の魅力を知ってもらうイベントの開催**

ex)・大学生限定の駿河区をめぐるバスツアー(区事業のPRや参加者募集を告知)
・ひとり暮らしの学生向け、駿河区の食材を使った静ガスコラボクッキング講座
・地域企業との交流会イベント、就活相談会

STEP2：駿河区の事業に「参加してもらう」(区とつながる)

☆　区の事業(駿援隊やスルガフェスetc.)に参加した学生は特典として限定イベントに参加できるしくみを作る

☆　参加することで学生のメリットとなることをPRする(単位、就活がキーワード)

STEP3：地域に入ってもらう！＝区役所をとおして地域とマッチング

≪ターゲット層≫　大学生

≪主催者・関係者≫　主催者：行政、地域/ 関係者：大学、企業、NPO

≪この提案に対する他班の参加者からのコメント≫
・大学生と区のつながりはあまりないので実現したら大学生に役立ちそう！/・大学生バスツアー、あったら参加してみたいです。/・学生に着目した点がいい。/・ひとり暮らし向けクッキング講座楽しそうだと思いました。/・学生の地域への関心が薄れているので学生のメリットのアピールは効果的だと思う。

4班　提案事業

するシェア

≪提案の背景≫
地域におけるつながりの希薄化等の課題解決には、若者と地域が力を合わせることが必要です。学生と地域住民がお互いの知識等を気軽にシェアできる交流の場を創ることで、人と人がつながる力が生まれ、駿河区の地域力をさらに向上させることができると考え、企画しました。

≪企画内容≫

～人・知識・魅力をゆる～くシェア駿（スル）！～

○お互いに**「与えられるもの」「ほしいもの」をゆる～くシェアする**ことができる関係づくりの場を創出する。（頼り頼られの関係）

学　生		自治会
人手（イベント・清掃） スマホの操作方法 若さ　etc.	⇄	イベントの場（お祭り等） 料理教室・編み物教室 地域との交流　etc.

⇒シェアの循環を若者と地域住民が主体的につくっていく仕組み
・はじめは区役所で定期的（週1回程度）にみんなが集まる場を設ける
・関係者を増やしながら、サテライト的に町内等で場を設けていく
・ゆくゆくは、若者と地域が主催者となることを目指す

≪ターゲット層≫
学生、自治会

≪主催者・関係者≫
学生、自治会、行政

≪この提案に対する他班の参加者からのコメント≫
・お互いに補い合う関係がとてもいい/・地域の人に料理を教えてもらったり、頼られたりするのは大学生の立場からも楽しそうだと思った/・企画名がよい。高齢者としても楽しみ/・学生にもメリットが見える取組は今までになく面白いと思う/・学生と自治会のつながりは今後大事になるので、ぜひつながってもらいたいです！

5班　提案事業

駿河区地域情報網

≪提案の背景≫
担い手不足等により、地域に若い力が必要とされている中で、実は地域活動に関心を持っている大学生も多い。地域と大学生を結びつけることができる情報共有の手段があれば、若者の地域参加が促進され、地域の活力の向上を図ることができると考え、企画しました。

≪企画内容≫

～情報大使で地域を知る第0（ゼロ）回～

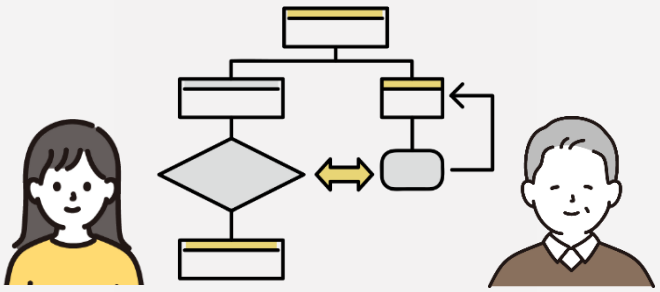
〇学生と地域それぞれの側から**「地域情報大使」**を選任
・大使同士が、LINEグループ等により随時情報をやり取りすることができる仕組みを構築（＝**情報大使館**として活用）

〇情報大使が各学生、地域住民に情報を展開
・情報を得た学生が地域のイベント、防災訓練、清掃活動に参加
⇒地域は学生をエスコートし関係を構築（ごほうび、ねぎらい）
・地域にも大学のイベント・公開講座の紹介などの情報を発信

〇はじめは学生と地域が互いを知って歩み寄れる取組を行政が支援し、情報大使を担うことができる人材を発掘
・大学の授業、掲示板、ウェブ媒体（静岡市市民活動サイト「ここからネット」）等を活用した地域活動の情報発信支援など

≪ターゲット層≫
学生、地域住民

≪主催者・関係者≫
学生、自治会、大学、行政



≪この提案に対する他班の参加者からのコメント≫
・学生側と地域側の両方に大使がいるというのがいいと思う/・若者と地域のつながりが向上しそう/・大使館があるとつながりが生まれるのがいいですね/・地域のことをあまり知れていないので、大使がいてくれたらありがたい/・情報を伝えることの難しさをテーマにしていてよいと思いました/・若者と地域のつながりを増やそう！

令和7年度以降事業へのフィードバック方針

【1班提案事業】
「駿河区の五つ星グルメ～推しグルメでもぐもぐしようぜ～」

「投票形式によるグルメのPR」に関する提案については、スルガフェスなどの駿河区役所主催イベントに参加する事業者、団体、地域住民、大学生等と意見交換を行い、イベント内容への反映を検討します。

【2班提案事業】
「ネクストスルガフェス☆彡～だれもが楽しめるスルガフェスに～」

誰もが楽しめるイベントにするための「各世代を対象とした企画」や「各世代が一緒に楽しめる企画」等に関する提案については、スルガフェス学生ボランティアと連携して、次年度のスルガフェスへの反映を検討します。

【3班提案事業】
「駿河区を応援したい（隊）プロジェクト～つながりの輪を広げてまちを元気に！～」

「大学生が区や地域と関わることを“メリット“としてとらえらる機会や場の創出」に関する提案については、大学等を通じた区役所から学生への情報発信の強化による区の事業への学生の参加誘致や、学生を対象とした新たな取組の実施などを検討し、学生の地域参加の促進を図ります。

【4班提案事業】
「するシェア～人・知識・魅力をゆる～くシェア駿（スル）！～」

大学生と地域住民が「お互いに“与えられるもの“、”ほしいもの“をシェアすることができる関係づくりの場の創出」に関する提案については、他班の提案とも合わせて、大学生と地域をつなげるための効果的な取組を研究するとともに、市民局へも情報提供します。

【5班提案事業】
「駿河区地域情報網～地域を知る第0（ゼロ）回～」

大学生と地域住民が地域活動などの情報を共有することができる「地域情報大使」に関する提案については、大学生が参加意欲を感じるような地域活動の調査や、大学生と地域の間における効果的な情報伝達の方法等に関する研究を行うとともに、市民局へも情報提供します。

駿河区
SURUGA

令和7年2月
駿河区役所地域総務課
TEL:（054)287-8682